

U♥heart

Vol. 15
October
2015

【特集】地域連携による社会貢献と学び

小倉台商店街の街づくりに挑むー

発達教育学部 発達支援教育学科 戸丸ゼミ

スカラシップに
チャレンジ
しよう!!

スカラシップ制度に合格した
先輩からのメッセージ

UEKUSA School News

教授・講師陣紹介 / ゼミ紹介 & 授業紹介

[連載] 漢字の今昔 / ご寄付のお礼

UEKUSA LIFE ~ 学生生活の紹介! ~

Information ~ 平成26年度決算の概要 ~



地域連携による社会

貢献と学び

発達教育学部
発達支援教育学科
戸丸 俊文 教授



小倉台商店会 副会長
染宮 修一さん



小倉台商店街の街づくりに挑む

発達教育学部 発達支援教育学科

戸丸俊文ゼミ

植草学園は、社会貢献を使命の一つと考え、地域社会と連携しながら多くの事業を行っています。たとえば、子育て支援・教育実践センターの開設や、自治体と連携した共同研究、学生が主体となったボランティア活動など、さまざま取り組みがあります。そうした取り組みの中から、今回は、ゼミの授業を通して、地域の商店街の街づくりに貢献していこう、という試みを紹介します。

この授業を行っているのは、発達教育学部の戸丸俊文教授のゼミです。植草学園小倉キャンパスの近くにある小倉台商店街を活性化させるための企画を、授業の中で立案し、それを商店会に提案します。そして、採用された企画を実際に運営します。

地域社会への貢献を行うとともに、学生は、商店会の方々などに関わりながら、コミュニケーション能力を磨き、企画立案と企画の運営方法等について学んでいくことになります。

学びのポイント

コミュニケーション能力と企画立案運営力を身につける

戸丸俊文教授のゼミ(以下「戸丸ゼミ」)には、発達支援教育学部の小学校教育専攻、特別支援教育専攻、幼児・保育専攻と、すべての専攻の学生が在籍しています。研究テーマには「コミュニケーション」と「企画立案運営」が設定され、デール・カーネギーの自己啓発本や、ピーター・ドラッカーの『マネジメント』などをテキストとして、研究を行っています。小倉台商店街の「街づくり」の企画立案と運営は、この研究テーマの実践ということになります。

ゼミで、こうした研究テーマを設定したことについて、戸丸教授は「学生が卒業後、教師や保育士になってから、小学校、幼稚園や保育園のイベントを自ら生み出していくことは、とても大切な意味を持ちます。しかし、企画立案運営の力がないうことになりがちです。そうではなくて、それぞれの現場環境を考慮しながら、子どもたちに喜ばれる企画を立てて運営できる力を身につけておくことが重要だと考えました」と述べます。

試行錯誤を繰り返しながら前へ進む

戸丸ゼミが、小倉台商店街の「街づくりに」実際に関わることになったのは、

学生たちが考えた企画案

- 海外の人を呼び込めるように街全体を和風の装いにしていく
- 地域内にある神社(貴船神社)を活用し恋愛成就の神様等をアピールしていく
- フォトリレーを開催する
- 地域内13カ所ある井戸を利用しウォーターリレーを行う
- 高齢者と孫によるファッションショーを開催する

結果的に、これらの案はすべて不採用となってしまいました。その理由は、自治会や商店会の役員などで話し合った結果、「今までにも似たようなことを行ったが、うまくいかなかった」といった意見が大勢を占めたからです。

しかし、小倉台商店会副会長の染宮修一さんは「この時、たくさんのアイデアを出していただき、大変良かったと思っています。これをきっかけに、街の方の理解が深まったり、新たな協力が現れたりすれば、大きな力が生まれます。そういう意味では前進することができたのだと考えています」と、おっしゃっていました。これらの企画案は通りませんでした。街の活性化に向けて新しい動きを起こすことが評価されました。

企画案不採用の結果をうけて、教員と学生で話し合い「街づくり」のために、まずは「商店会を元気にすること」を当

商店会から相談をもちかけられたことがきっかけです。以前から、戸丸教授は、手話サークルの学生が、商店会の納涼祭の手伝いをしていて聞いていたため、その様子を見にいったところ、商店会の役員から「商店会加盟店が減少していて、存亡の危機に立っている。何とか学生の力を借りて商店街を活性化できないだろうか」と相談されました。

そこで、戸丸教授は「学生が街の活性化について考えて案を出し、その案の実行に取り組みすることは、コミュニケーション能力や、企画立案運営の力を身につける良いチャンスである」と考え、協力することを約束しました。

大学では、小川晶准教授と久保隼人助手が協力を申し出ました。そこで、始めに自治会役員や商店会役員の方々と教員3名で、どのような形で取り組むか話し合いました。そして、まず、学生が商店街の状況をリサーチした後、活性化案を出し、その案を元に、自治会や商店会の役員などで話し合うことが確認されました。

さっそく戸丸ゼミの学生たちは動き出します。こうしたリサーチや発案は、今まで経験したことがないため、当初は学生にもとまどいがありました。なんとか企画案をまとめて提出しました。その案の一部をあげます。

面の目標として設定しました。商店会各店舗に学生を担当として配置し、「街づくりの視点」で、どのようなことを大学や学生に行って欲しいかを再度リサーチをしました。そして再び企画案を出しましたが、また思うようにいきませんでした。こうしたことを繰り返した後、ようやく実現したのが「小倉台納涼祭と大学浴衣登校のコラボレーション」と「おぐらリレー」です。この2つの企画について説明します。

反省から学び次回へ生かす

「小倉台納涼祭と大学浴衣登校のコラボレーション」企画は、小倉台で行われる納涼祭に、植草学園の学生が浴衣を着ていくと、カキ氷がもらえるというものです。浴衣姿の若い人が納涼祭に大勢参加することで祭りが盛り上がり、街の活性化に繋がることを狙っています。

実は、植草学園大学学友会の提案で、今年度より学内で七夕祭りが行われることになり、その最終日は、浴衣での登校が可能となり、その最終日は、幼稚園、保育園特別支援学校、小学校、介護施設等の行事で七夕祭りが行われ、先生や職員も浴衣を着ることがあります。同じような行事を大学生のうちに経験しておき、就職後に現場ですぐに役に立てられるように、という意図で考えられたものです。

百の無駄な案を出そう
戸丸教授は「おぐらりー」を、さらに発展させていくことはできないかと考えています。商店会の活性化だけが目的ではなく「街づくり」が目的であることを再確認しながら、たとえば、子育て関連

そして、その七夕祭り最終日が偶然にも小倉台納涼祭と同じ日であったため、両者をコラボレーションさせることにしたのが、この「小倉台納涼祭と大学浴衣登校のコラボレーション」企画です。七夕祭りに浴衣を着てきた学生が、そのまま小倉台納涼祭に行けばカキ氷がもらえます。この企画は当たり、小倉台納涼祭の会場となった公園は、たくさんの浴衣姿の学生で賑わいました。

この企画は若葉区の助成事業として、助成金をいただけることになりました。公的に認められたということで、それが学生や商店会の、やる気を奮い立たせました。

小倉台には高齢者が多いことから、分かりやすいスタンプカードのデザインを心がけたり、イラストを使って視認性を高めたりといった工夫をしています。スタンプのデザインも、各店舗で販売している商品などを考慮しながら特徴的なデザインを考えて図案化しています。

リジナルスタンプ、説明書、掲示用加盟店カードまで、すべて学生が製作しました。「おぐらりー」の名称も学生が発案したものです。

多くの学生が会場に足を運んだことは大成功でしたが、反省点もありました。カキ氷の屋台を運営していたのは、手話サークルの学生たちでしたが、事前の話合いや打ち合わせがなかったために、戸丸ゼミの学生たちとの意思疎通がうまく行かず、お互いにとまどう場面があったことです。学生たちは、こうした点を反

省し、次回に生かしていくことを学んだようです。
若葉区の助成事業として認められる
「おぐらりー」は、小倉台商店会の知名度を高め、集客力を上げるための企画です。スタンプカードを作り、この企画に賛同してくれた店舗で買い物をするスタンプを押してもらえます。スタンプが6つ押されると景品の抽選に応募することが出来ます。

現在、商店会の12店舗が、この企画に賛同して参加しています。景品もこの12店舗が提供しますが、1等賞の「東京デイズ二日リゾートペアチケット」だけは商店会費より拠出となっています。

この企画は、戸丸ゼミの学生が主体的に取り組み、企画立案から運営までを行いました。スタンプカード、各店舗のオ



小倉台納涼祭のようすと浴衣姿のゼミ学生



小倉台商店会副会長 染宮さんと戸丸教授・ゼミ生みんなまで

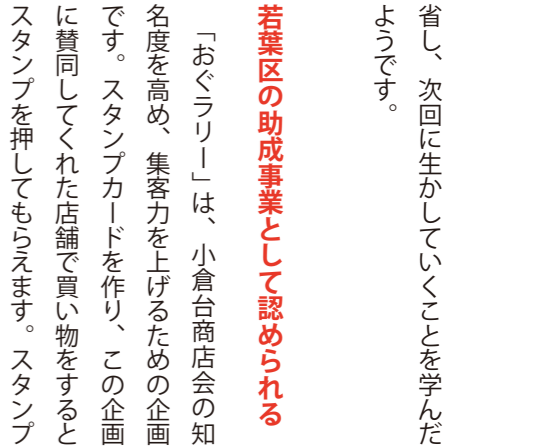
施設や高齢者施設等々にも参加を呼びかけ、ボランティアを行ったらスタンプを押してもらえようようにしていく。そして「地域全体で、子どもや高齢者を守る活動にも繋がりたい」との考えをもっているようです。子育て支援や教育支援、高齢者介護の立場から「街」を見直すことができれば、植草学園大学で「街づくり」に関わる意義がさらに深まります。

そして「これからも、学生に柔軟な発想を求め、たくさん案を出していただく。また、受け入れてもらえない案になるかも知れませんが、私たちの合い言葉は『百の無駄な案を出そう』です。失敗にめげずに、学生と一緒に地域貢献のための活動を考え、実行していきたいです」と述べています。



「肉の丸正」のご主人と一緒に

ゼミでは学生たちが積極的に意見を交わしています。この日はゼミの研究テーマへの取り組みについて熱く議論しました。



ご協力いただいた「越後屋餅菓子店」のご主人と一緒に



リーズナブルな価格で学生の強い味方 手作りメンチカツやコロッケが大人気!



ご協力いただいた「肉の丸正」のご主人と一緒に



ご協力いただいた「越後屋餅菓子店」のご主人と一緒に

植草学園が将来に渡り信頼されながら存続していくためには、地域への貢献が不可欠です。そのため、地域のさまざまな方々や機関と連携しながら、地域貢献に取り組んでいます。まず自治体との連携があげられます。本学は、千葉県の委託事業や、千葉市との共同研究などを行っています。平成24年には千葉市若葉区と相互連携協定を締結し、各種の事業を展開しています。また、学生のボランティア活動等を通じて地域の諸団体の方々と連携しています。他にも、たとえば「子育て支援・



子育て支援・教育実践センターで子どもたちと接する学生のような様子

教育実践センター」として、植草学園の施設を開放し、地域の方にご利用いただいています。植草学園では、こうした地域貢献を、将来的に拡大していきたいと考えています。たとえば、若葉区は高齢化率が非常に高まっていますので、高齢者の方々が利用できる施設開放なども、今後検討したいところです。乳幼児から高齢者まで、幅広い方々が、本学の施設を憩いの場として利用していただき、そうした方々が、学生とコミュニケーションを取ることができるようになれば、学生も得るものが大

きいはずです。本学では、教員や保育士、介護福祉士、理学療法士などの養成を行う専門性をもった学部等がありますので、今後は、それぞれの専門性を生かした地域連携を推進し、植草学園だからこそ可能な地域貢献を進めていきたいと考えています。



平成24年9月29日 千葉市若葉区と植草学園大学・短期大学との相互連携の締結式(当時の写真)

植草学園の地域連携・地域貢献への取り組み

学生たちが企画・製作した イベント用ツール



新聞折り込み広告として近隣7100戸に配布したチラシ

それぞれの店の長所を取り入れてデザインしたスタンプ



分かりやすさ・使いやすさを考慮して製作したスタンプカード



地域のみなさんにイベントの主旨を理解していただくために製作した「おぐらりー」説明書



学生たちが文章・レイアウトなどを考えて提案したポスター案

神明 夕夏子

植草学園短期大学
福祉学科
児童障害福祉専攻 2年
千葉県立茂原高等学校出身



在学生 スカラシップ生

特別な努力はしていませんが、集中して講義に臨むことを心がけたり、長い通学時間を利用してノートを見返したり、友だちと復習をしたり、そういった小さな積み重ねの結果として、在学生スカラシップに合格できたことは、とてもうれしいです。

家計が厳しいため、高校生の頃から奨学金を借りていますので、早く働きたいという思いから短期大学に入学しました。経済的に厳しくても、私のように奨学金を利用したり、スカラシップに挑むなど、進学する方法があることを伝えたいです。

努力して得る
喜びは大きいです

小さな努力の
積み重ねが大切



石井 雄一朗

植草学園大学
保健医療学部
理学療法学科 3年
千葉県立長狭高等学校出身



在学生 スカラシップ生

私は植草学園大学を、指定校推薦で受験して合格しました。その後、一般入試やセンター試験を再受験することで、新入生スカラシップ制度にチャレンジできることを知り、一般入試に向けて勉強し直し、再受験しました。しかし、新入生スカラシップに合格することはできませんでした。ただ、その悔しさと、在学生スカラシップに合格したいという目標ができたおかげで、学修に取り組むモチベーションが上がりました。

実は、大学に入学するまで、勉強はあまり好きではありませんでした。そんな私が頑張って勉強ができたのは、スカラシップに合格すること、理学療法士になりたいという

明確な目標ができたからだと思います。目標を実現するためには、今、何をすればよいのかを考え、それに向かって頑張ることができたと思います。

新入生スカラシップに合格できず悔しい思いをした分、在学生スカラシップに合格した時は、とてもうれしかったです。、両親の経済的負担も、少しは軽くすることができたのではないかと思います。

今は、勉強する時は勉強し、遊ぶときは遊ぶというメリハリのついた充実した学生生活を送っています。飲食店でアルバイトもしていますが、接客はコミュニケーション能力を磨くこともでき、学ぶことも多いです。

将来は、患者さんから信頼され、それに応えられる理学療法士になりたいです。そのためにも、理学療法士の基礎をしっかりと学修していきたい

スカラシップ
合格を目標に
奮起しました!



植草学園短期大学に、在学生スカラシップ制度があることを知ったのは入試説明会的时候了。せっかくだから挑戦してみようと思い、頑張って勉強しました。

私は、重要なことを書き写したり、声に出して読み反復して覚える学習法を実行しています。その努力の結果が実って合格できたと思います。家族も喜んでくれ、頑張って本当によかったと思いました。

勉強に励んだ後に得られる喜びは大きいので、ぜひスカラシップにチャレンジして欲しいと思います。

五十嵐 美穂

植草学園短期大学
福祉学科
地域介護福祉専攻 2年
千葉県立八千代松陰高等学校出身



在学生 スカラシップ生

と考えています。

植草学園大学には、少人数制で先生方の熱心な指導、充実した設備など、理学療法を学ぶための最適な環境があります。理学療法士をめざしている高校生は、ぜひスカラシップに挑戦して夢を実現して欲しいと思います。スカラシップに合格すれば経済的な負担も軽減でき、さらに、努力したことが結果として表れることで自信にも繋がると思います。

雪岡 里帆

植草学園大学
発達教育学部
発達支援教育学科 3年
千葉県立四街道高等学校出身



新入生 在学生 スカラシップ生

スカラシップ制度があったことが、私が植草学園大学を志望した理由の一つです。家庭があまり裕福ではなかったため、学費の負担を少しでも軽くしたいと思ったからです。

植草学園大学は、AO入試や推薦入試で合格した後からでも、一般入試かセンター試験を再受験して、スカラシップに挑戦することも魅力を感じました。

高校の先生や親からも期待されスカラシップに挑戦するよう勧められましたが、勉強を始めるのが遅かったため、不安がありました。というのは、大学へ進学することを決めたのは高校3年の9月でした。また、スカラシップを受けるためにセンター試験

の勉強を始めたのは、指定校推薦に合格した11月でした。

周りから「受かって当然」と思われ、とてもプレッシャーに感じたり、すでに大学に合格しているのに、センター試験を受けることは、学習意欲を上げるのが難しかったです。そこで、「スカラシップに受からなかったら大学に行けないぞ!」と、自分に言い聞かせ、自分を強く追い込んで頑張りました。

そして、センター試験を終えた後、自己採点をして、高得点を取っていると分かった時は、うれしくて涙が止まりませんでした。懸命に努力して得た良い結果は、こんなに心と体に響くものかと驚きました。その後、新入生スカラシップに合格したことを知り、在学中も継続してスカラシップを受けられるように努力しようと思いました。

経済的な事情で進学をためらっている人

自分を
追いついで
頑張りました

も、あきらめないでほしいです。お金がなくても、スカラシップ制度や奨学金を利用するなど、勉強する方法はあります。大事なものは「勉強したい」という強い気持ちだと思います。今のあなたが動かないと未来は広がりにません。負けずに頑張らしましょう。

スカラシップ制度に合格した
先輩からのメッセージ
スカラシップに
チャレンジ
しよう!!

植草学園のスカラシップ制度が変わります。

平成28年度の大学新入生から、免除額が大幅に引き上げられることになりました。

植草学園のスカラシップ制度は、頑張るあなたを応援します。スカラシップにチャレンジして、植草学園で学びませんか。スカラシップ制度に合格した先輩から、高校生のみなさんへのメッセージを掲載しますので、ぜひ参考にしてください。

新しいスカラシップ制度の詳細内容は裏表紙をご覧ください

長距離通学で
勉強する工夫を



在学生スカラシップに合格したと知った時は驚きました。私の下に弟が2人いて、これから学費もかかるので、少しでも家計を助けられればうれしいです。

私は、2時間かけて自宅から通学しているので、単語帳を作ったり、赤シートを使ったりしながら、通学時間を活用して勉強する方法を工夫しています。スカラシップに受かったのはそうした工夫の成果だと考えます。

学生のうちに、たくさんの体験をして多くの知識を身につけ、将来は、それを生かせる小学校の先生になりたいと思います。

井上 菜里

植草学園大学
発達教育学部
発達支援教育学科 3年
茨城県立鉾田第一高等学校出身



在学生 スカラシップ生

【ゆとり】の55分授業実施へ

週5日制による授業時数の減少、それに伴う学力低下に対応するため、公立高校では週に1日以上7限授業の実施、私立高校では週6日制の復活が進んでいます。また、45分7限授業を実施している学校もあります。

本校としては独自の視点から、放課後や土曜日の有効利用も考慮しながら検討を重ねた結果、平成28年度より55分6限授業の実施を決めました。やみくもに授業時数を増やすのではなく、授業時間を5分延ばすことで、毎授業での成果確認(振り返り)をしつかりと行う。授業での学び残しを極力少なくすることで、家庭学習がより主体的・効果的に行えるようになるを考えます。

かつて、「ゆとり」か「詰め込み」という二項対立的な議論が行われていた時代がありました。「ゆとり」のもとに学習内容が削減されたのです。本校では、本当の「ゆとり」とは同じ学習内容を時間をかけて学ばせることであると考えます。また、国立教育政策研究所から提案された「21世紀型能力」を育成するために、今後求められているアクティブラーニング型授業の導入やICT機器の活用これらを推進するためにも55分の授業時間は有効な基盤となると考えています。

さらに、学期制は授業日数を増やすために行ってきた2学期制を3学期制に戻します。それでも55分授業にすることで、授業での学習時間は今までより多く確保することができ、生徒の主体的な活動を支援するために、「ゆとり」は必要だからです。

【韓国高校生 学校交流会 in 植草学園大学】

7月31日(金)、韓国からの高校生・引率教員・通訳が学校交流のため、植草学園大学に来学し、本校から52名の生徒が交流会に参加しました。今回の交流は、(公)日韓文化交流基金からの依頼によるものです。

交流会のはじめに、植草和典理事長が歓迎の言葉を述べました。その後、グループに分かれ、折り紙やうちわの寄せ書きなどを体験し、韓国の高校生との友情を深めました。また、浴衣の着付けや弓道の見学なども行い、日本の文化にも触れてもらいました。

本校には韓国語を独学で勉強している生徒がおり、挨拶やゲーム、クロージングの進行を引き受けてくれました。一方で、なかなか話しかけられない生徒もいましたが、日本語の話せる韓国の高校生に助けってもらったり、英語を使ったりして、だんだんと打ち解けていきました。クロージングでは、本校ダンス同好会がダンスを披露し、大いに盛り上がりました。続いて、韓国生徒による歌やダンス



植草和典理事長からの歓迎挨拶



韓国高校生交流会

の発表がありました。韓国全地域から集まった高校生との集団ということで、練習時間はほとんど取れず、この発表のために前日に一所懸命練習したそうです。

わずから時間足らずの交流会でしたが、同じ高校生としてお互いの国に興味をもち、仲良くなりたい気持ちをもって楽しく過ごせたことは、とても意義深いものでした。

11月には、本校生徒7名が千葉県代表韓国訪問団に参加する予定になっています。文化・歴史施設見学その他、学校訪問やホームステイもプログラムに含まれています。訪問に向けて、韓国や日本について学ぶ勉強会を毎週行い、基本的な韓国語会話も練習しています。今年、日韓国交正常化50周年を機に、両国の交流が深まることを願っています。



ボルダリング

韓国の高校生が来学、ダンスを披露しあい、交流を深めて友情を温めました

植草学園大学 附属高等学校

【ボルダリング】

高校の記念館では、ボルダリングが楽しめます。ボルダリングとは、壁を登る人気のクライミングスポーツです。腕の筋肉だけでなく、全身を使って壁を登っていきます。「あつ、落ちた！」でも大丈夫！下には厚い着地マットが敷かれていて、安全に登ることが出来ます。

8

月1日(土)に、弁天・美浜幼稚園合同の研修会を実施しました。「質の高い保育とは」をテーマに、植草学園大学・短期大学の先生方にも参加いただき、グループ討議を行い、最後に講師の木下勝世先生に講演をしていただきました。これまでも何回か研修会を実施してきましたが、附属園として大学の先生方との研修会も必要になってくると感じています。これも園への移行で勤務形態も変わっていくなか「職員の研修時間」をきちんと確保し、働きやすい職場にしていきたいと思っています。



幼稚園合同研修会



園長先生と積み木遊び

今年度はまだ「幼稚園」ということで9時から14時までの生活を中心とし、保護者の就業時間に合わせ、7時から19時まで園で生活する長時間預かり保育を行っています。28年度からは「幼保連携型こども園」に移行予定のため、数年前から保育園と話し合いを行い「子どもの生活や遊び」「職員の勤務体制」等の見直しを行っています。今まで積み重ねてきた「幼稚園への思い」と、これから移行する「こども園について」の変化に戸惑いがあるのも事実ですが、子どもたちが有意義に生活できるように「子ども主体」の園をめざし

子ども主体の園をめざし、幼保連携型こども園への移行準備を進めています

千葉公園で親子懇親会



て、職員が見聞を広げ、気持ちも勤務の仕方も柔軟に移行していかなければと思っています。子どもたちはすでに移行へむけての生活に徐々に馴染んでいます。

植草学園大学 附属弁天幼稚園



絵本コーナーで遊ぶ

美

浜幼稚園の取り組みについて

今年度、保育を見直し保育の質を高める研修を大学・短大の先生の協力を得て進めています。その中で、遊びを通じて園児個々の興味・関心を伸ばしたり、創造性をはぐくみ、思う存分好きな遊びができるように保育内容の改善を図っています。その試行として、コーナー遊びを何度か計画し実施しました。保育室では、小麦粉粘土、色紙や小箱等での製作、塗り絵などを用意しました。園庭では花びらや果実、ダンボール、三輪車などを用意したり、総合遊具で遊ぶことも容認しました。園児が自分の考えで自由に遊ぶ時間を設け、観察・見守りに努めました。

園児はこのような体験で心の満足感、生活する喜びなどを感じ、自信の芽を育てることも繋がると思っています。また、友との関わりの中で、集団性・社会性・人間性を高め、挑戦する意欲を育てていくことも大事だと考えています。

運動会の行事などでは、できるだけ園児の考え思いなどを汲み取り、主体的に取り組めるよう考え、個々の良さが発揮できるようにしています。見かけの華やかさや統制のとれ



園庭でのサーキット遊び



アトリエでの製作

園児の思いを汲み取り 個々の良さを磨き伸ばす 保育を進めていきたい

植草学園大学 附属美浜幼稚園



果実の色水遊び

大学生による 参観実習

た動きより、園児達の瞳が輝き、やり終えた満足感・充実感を味わうことができる方向に力を入れました。また、行事を通して学年・学級がまとまり、連帯感などが園児一人ひとりに感じられ育つていたら良いと思います。今、青少年の凶悪事件や乳幼児への虐待などが各地で起こっています。子どもが健やかに夢や希望に向けて突き進んでいける地域社会にしていかなければなりません。園では、保護者と力を合わせ、園児個々の良さを磨き伸ばし、温かな心情をはぐくむ保育を進めています。



ゼミ生と

植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科 准教授
多田 昌代

「将来を見据え
今必要なことを」
専門は臨床発達心理学、応用行動分析学です。その知識を生かして、普段は、幼稚園や保育所、小学校などに出向いて、行動上、学習上に困難をもつ子どもたちの支援のあり方について、先生方と協議しています。
今、共生社会の形成や、そのためのインクルーシブ教育システムの構築といったことが言われていますが、そうであるなら、目の前の子どもが将来、地域社会で生きていくためには、何が発達課題であり、それをどのように学んでもらうのかといったことを考えることが大切だと思っています。
研究室に集まってくれた学生のみなさん(ゼミ生)にも、このようなことを伝えたいと思っています。ちょうど、幼稚園や施設、小学校、特別支援学校の実習を終えた頃です。実習報告では、現場から多くを学んできたことを感じさせられます。
受験生のみなさんには、入学後、自分が取得したい資格について、座学だけではなく、ぜひボランティア等で実地体験を積んでほしいと思います。そのようなカリキュラムを組んでいるのも植草学園大学のよいところだと考えます。

学ぶことの原動力は好奇心、そして生命についての不思議は誰もが感じると思います。解剖学の言葉で言えば、命を宿すあなた自身が主役です。そんな自身の秘密を学んで癒しのプロをめざしませんか？



講義での一コマ

植草学園大学 保健医療学部
理学療法学科 教授
山本 雅哉

「癒しのプロになるために」
新しく保健医療学部へ赴任した解剖学を担当する山本です。保健医療学部では、将来の理学療法士の育成を主眼に教育に当たっています。理学療法士は、主として疾病・障害に悩む人たちの回復・リハビリをお手伝いします。癒しのプロフェッショナルになるには命を宿す体についての知識・理解が必要です。置かれるルールの理解をめざします。
体を構成する要素をアルファベットに例え、筋、消化器、肺など諸組織は、目的に応じてアルファベットを綴った単語に相当し、生命を支えるためにこれら組織が協調する仕組みが文章・文法に当たります。解剖学の受講者には、生命を綴るアルファベットから基本的な文法までを系統立てて学び、将来の患者・医療関係者との適切なコミュニケーション、ひいては教養として日頃の健康状態を察知・維持に役立てて欲しいと思っています。



講義での一コマ

植草学園短期大学 福祉学科
地域介護福祉専攻 教授
川村 博子

「より高度な
介護人材の育成をめざして」
日本の高齢者数は増加が続き、より高度化し多様化した介護ニーズが生ずることが予測されます。また、高齢化の進展に伴い、認知症の人はさらに増加し、2025年には約700万人が認知症であると推計されています。認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現のためには、質の高い介護サービスの提供ができる、より高度な介護人材の育成が望まれます。
高齢者だけではなく、障害や難病の方についても増加傾向にあり、とりわけ精神障害や難病については、身体障害や知的障害にくらべて増加の割合が大きくなっています。この分野においても、質の高い介護サービスの提供が望まれています。
本学の地域介護福祉専攻では、介護の専門力の強化と対人関係技術の強化をめざし、知識や技術の修得はもちろんのこと、人間関係やコミュニケーションの形成についても演習等を通じて楽しく学んでいます。就職後も職場に適應し、定着し続けることができるように、対人関係技法をロールプレイで学ぶ授業もあります。
介護の専門知識を身につけ、地域の高度な介護人材となることをめざすみなさんと、本学で一緒に学べることを期待しています。



学生たちと

植草学園短期大学 福祉学科
児童障害福祉専攻 准教授
根本 曜子

「少子高齢化の社会の中で
学生とともに学び合う」
社会福祉、相談援助、介護過程など短大の両専攻の授業を担当しています。二つの専攻がある中でよく、「どちらが専門ですか？」と尋ねられることがあります。答えはどちらか一方ではなく両方です。少子高齢化が急速に進む中、困り事を抱える人の困り事は実に多種多様で複雑です。保育であれ、介護であれ、幅広く知識・経験をもち、寄り添って解決していくことが求められます。具体的に学ぶため、事例を使って学生のみなさんとともに学んでいます。学生から学ばれることがたくさんあります。
ゼミでは毎年、学外の公共施設などに出かけています。最近ではバリアフリーが進み、障害がある人が利用しやすい公共施設が増えています。いろいろな立場を設定して、利用しやすいかを検討しています。障害があるなしにとどまらず、母親に抱きかかえられ来たり、乳児、孫と一緒に来た高齢者、誰もが楽しく利用できるかなどを大学にもち帰り、話し合っています。このような学びを通して、特別に設定しなくても、普段から困っている人がいたら配慮できるようにしてもらいたいと考えています。

豊かな心を育む



【はい、どーぞ】



アジサイ探検に行こうか？

豊かな心を育む
ある日の一歳児の散歩の一場面から、散歩の途中、ある家の前を通りかかった時に「ヒヨコ見て行く？」と声がかかったので、そのお宅の庭に入ると、目の前に真っ白な毛に覆われた鳥骨鶏が二羽。(保育者がイメージしていたヒヨコとはほど遠い生き物が目の前に)その鶏の前に、身動きもせずじっと見ているだけの子・興味津々に動きを目で追っている子とさまざまな反応が。間近で見ると、初めに出会った生き物に驚いている表情を見せた子どもたち。あまりの驚きでその場では言葉を発することはなかったのですが、そのお宅を出て保育者が「毛、フワフワだったね」と言う「コッコ、フワフワ」「フワフワ」と次から次へと感じた思いを言葉や表情、しぐさ等で伝えていた事に、驚きと子どもの感性に感動した事の報告を受けました。保育者自身が真に子どもの思いに共感し感動した言葉だったので、その光景が目には浮かびイメージが膨らみました。これは、散歩での一場面ですが、保育園では、日々、さまざまな場面で子どもたちは色々な発見をし、感じた事、思った事・考えた事を保育者や友だちに伝える

子どもの感性に感動し共感し
豊かなでおおらかな
心をはぐんでいきたい

おたんご、おたんご、こーろこ



みんなで一緒にジャンケンポン

植草弁天保育園



より

てきます。この伝えたいという思いは、ひとりで完結するものではなく、誰かと感じ合いたい・繋がりたいという思いがあるからこそだと思えます。
さまざまな情報機器が発達し、ひとりで楽しみ、ひとりで完結できてしまつ世の中は、人と人との繋がりが希薄になり、豊かな感情表出(喜怒哀楽)が乏しくなっていることに危惧を感じます。人格形成の基礎となる乳幼児期：保育者自身も豊かなアンテナを張って、一人ひとりの子どもを思いをキャッチし、応答的な関わりをたつぷりし、豊かでおおらかな心をはぐんでいきたいと思えます。

子育て支援・教育実践センター運営開始

「子育て支援・教育実践センター」シンボルマーク



愛称
こいっく おぐ (小倉キャンパス)
こいっく べん (弁天キャンパス)

植草学園では、これまで「相談支援センター」を運営してきましたが、子育て支援ニーズの高まりを受け、平成27年度より、「子育て支援・教育実践センター」に改組し、今まで以上に充実した支援を行っています。
今回の改組に伴い、小倉キャンパスに加え、弁天キャンパスにも「子育て支援・教育実践センター」の施設を設けました。弁天キャンパスには、28年度から「幼保連携型こども園」に移行予定の、植草学園大学附属弁天幼稚園・植草弁天保育園もあります。両者が連携しながら地域の子育て支援の拠点になり、先駆的な子育て支援の取り組みを行うことが、千葉市の「こども未来局」からも期待されています。
今年度より「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたこともあり、今後、地域における子育て支援がより重要になってくると思われます。幼稚園教諭や保育士の養成校である本学としても、これまでに以上に子育て支援に、しっかりと取り組んでいく必要があると考えます。



シンボルマークに込めた思いを語る小川ゼミのみなさん

植草学園事務局

より

植草学園の「子育て支援・教育実践センター」は、運営に幼稚園教諭や保育士をめざす学生が加わることに特色があります。学生が、いつでも子どもと関われる環境にあるため、学生にとつても、子どもや保護者にとつても、理想的な交流の場となります。
センターでは、子育て交流事業や育児相談、子育て講演会その他、子どもが高齢者と交流する「孫育ち講座」なども企画し、さまざまな面から子育て支援に取り組んでいます。
なお、5月19日には、弁天キャンパスの「子育て支援・教育実践センター」開所式が、来賓として、千葉市こども未来局保育支援課長の佐々木様、弁天町会長の丸様、弁天地区主任児童委員の木内様・石川様の4名をお迎えして行われました。
当日は、センターの愛称募集に応募して採用となった短期大学児童障害福祉専攻2年藤田結奈さんと、シンボルマークに採用となった大学発達教育学部小川ゼミのみなさんが、それぞれの作品に込めた思いを語り、理事長による表彰も行われました。

◎植草学園教育研究振興資金◎ 寄付者ご芳名簿 (平成27年4月1日～平成27年8月31日) 順不同 敬称略

三幣 周子	鎌田 哲夫	阿曾尾 秀則	外山 不二夫	高梨 智子	元島 民雄	森田 洋子	田所 明房	佐藤 慎二
藤野 啓子	山崎 進	梅田 竹二	村石 雄二	池田 文江	大庭 晋一郎	安藤 則夫	名古屋 恒彦	上原 朗
櫻屋敷 智子	武藤 新一	五十嵐 暁子	庄司 元彦	安川 和美	宮原 由美子	鈴木 順一	相原 彰子	荒井 弘
白石 靖	神野 茂美	根本 曜子	松井 奈美	志村 進	宗延 ひろ子	吉永 秀幸	川口 誠	櫻村 和英
林 博史	岡田 理	古関 敬	中村 俊明	太田 真之	野呂 定夫	石橋 葉子	坂本 博之	中臺 光一
鈴木 宏男	佐久間 仁一	小川 俊章	荒居 広史	南山 尚樹	吉田 雅儀	中坪 見一	成瀬 孟	日向 三喜男
高橋 由香	杉本 一義	鈴木 晃一	米元 直幸	芝本 辰夫	松下 幹雄	内桶 敏則	近藤 敬雄	国吉 真純
角田 栄一	山口 隆幸	土屋 成男	小川 純一	布施 千草	野口 芳宏	高橋 弘之	加藤 仁司	嶋津 佳介
山岡 知博	手塚 千俊	大館 篤	熊倉 堅吾	安孫子 靖夫	小竹 正人	谷 勝幸	境 由美	小澤 稔
薄 治彦	岩崎 一夫	竹ノ谷 法子	金 孝映	岩上 義一	渡辺 典子	山本 邦晴	佐々木 秀雄	山田 康弘
河本 秀樹	ガントモル	アマルジャルガル	小泉 佳石	加藤 敬一	岩井 智美	青野 将丈	関口 紀子	盛田 元之
鈴木 敏也	熊手 正義	鈴木 則彦	星野 則浩	松永 信一	齋藤 邦彦	稲岡 智子	熊谷 和子	高橋 一郎
関根 幸一郎	齋藤 理恵子	黒田 静江	松戸 勝美	岩館 正雄	桑田 良子	永澤 淳一	大木 章子	川島 文子
安田 宣子	居村 茂幸	楯澤 信也	牧野 浩二	伊藤 和義	横内 婦美子	山田 純子	助川 昌広	嶋津 美智子
田汲 聡	松原 敬子	坂井 あけみ	工藤 香	高橋 成光	岩梨 利代子			

有限会社日商	英進商事株式会社	株式会社社総・設計	有限会社シーオブシービルサービス
有限会社千葉美術アカデミー	株式会社がんばりっ子	株式会社エイ・エフ・エイ	鶴沢建設株式会社
新日本植産株式会社	光工商株式会社	株式会社チッタ・ライヴス	株式会社コスモ
株式会社正文社	株式会社三越伊勢丹	音楽工房	株式会社千葉測器
株式会社マイナビ	有限会社スタジオサンク	株式会社紀伊國屋書店	学校法人幸正学園みのり幼稚園
			ギャレックスチバ株式会社

多くのみなさまのご協力とご厚志に心よりお礼申し上げます。引き続き、学生生徒への支援と充実した教育研究環境の整備を継続的に進めるために募金活動を進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

漢字の今昔

植草学園大学 学長
浦野 俊則

第十五回

【登】



この形の器は、中国・漢時代の墓葬から、穀物を盛りつけたものが出土しています。殷周時代の甲骨文や金文を読むと、蒸した穀物をこの器に盛りつけて神前などに供えていたと考えられます。

この器の形から「豆」という字ができました。図cにその形がよく見えます。「豆」字は、今、「まめ」と読んでいますが、もとはこのような形をした容器(高坏:たかつき)でした。ですから、この形の器を「豆」(トウ)といいます。我が国で、神棚や仏壇にご飯を供える時の入れ物と

形も機能もよく似ています。

図cは、器(うつわ)の豆(トウ)を両手で捧げている形の字です。図aとd以下の字には、上部に足跡が書いてあります。神霊は高いところに居ると考えられていたのでしょう。両足をそろえて一歩ずつ階段を「登る」さまを表したのだと思います。このことから、「登る」の意味に使われるようになったと考えられます。図fは西周晩期の字ですが、「登る」の意味に使われています。

甲骨文字a bの形には、神霊に供える意味に解することができる文があります。図eには穀粒のような小さな点がついています。この字は祖霊に供える意味に使われています。

「登」字の上部は、「はつがしら(発頭)」と呼んでいますが、図g、h、iのように変化したものです。「はつがしら」のもとには両足の形でした。篆書以下では、下部にあった両手の部分が無くなっています。

足で登ることから、登山、登高、登楼、登壇のように高いところに登る語に用いますが、進化して登城、登校のように必ずしも高さにこだわらない語に用い、更に進化して登第(合格)、登用(任用)、登記、登録(記録)のように用い、使用範囲が広がりました。

殷	甲骨文		
	金文		
周	篆書		
	隶書		
秦漢・唐	楷書		

ゼミ紹介

出前保育を通して保育の現場を体験的に学ぶ——栗原ゼミ

発達教育学部 発達支援教育学科

准教授

植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科
栗原 ひとみ



専門ゼミナール(栗原ゼミ)では出前保育を行っています。ここでいう出前保育とは学生が近隣の幼稚園・保育園に出かけて行って、保育活動(劇・ダンス・パフォーマンス等)の一端を担う活動のことです。

まず園に伺って、園の概要を理解します。どのような保育目標があり、どのような教育方法で、どのような興味関心がある子どもたちに、どのように保育をすれば良いのかを考えるための情報収集をします。それから大学で、指導案を作成し、パフォーマンスを創り上げていきます。連絡係、脚本係、衣装係、スケジュール管理係、大道具係、小道具係、備品購入係、会計係、音響係、プレゼント製作係等、誰もが複数の役割を担って取り組みます。

そして当日は、子どもたちの様子に合わせて、応答的なやりとりでコミュニケーションを図りながら、臨機応変に子どもたちと一緒に保育を創り上げていきます。

出前保育の一番いいところは保育現場で、子ども、保育者、そして学友、この三者から学ぶことができる点です。二番目にいいところは、チームで子どもたちの保育を行う体験ができることです。この体験は就職したら即日のうちに求められます。チームで目的に向かおうとする時の過程には葛藤あり、困難あり。試行錯誤の連続ですが、だからこそ個人で取り組んだ時以上に期待はふくらみ、達成感は格別なものになります。チームで保育に取り組む意義と面白さを保育者養成段階で体験的に学んでおくことは、必要な学修体験だと考えています。



授業紹介

整形外科学

理学療法基礎科目 2年次通期

教授

植草学園大学 保健医療学部
理学療法学科
上原 朗



日本是世界一のスピードで高齢化が進展しており、世界有数の長寿国となって、2014年の日本の平均寿命は男女とも過去最高を更新(女性:86.83歳で世界1位、男性:80.50歳で3位)しました。総人口に占める65歳以上の高齢者も、26.7%以上で、過去最高の超高齢社会(2007年に21.5%と超高齢社会に入った)になりました。さらに80歳以上が1002万人(総人口の7.9%)、100歳以上も6万人を超えていると推計しています。

しかし平均寿命(生きているという意味での寿命)と健康で暮らすことができる年齢(健康寿命:女性が73歳、男性が70歳)との差はだんだん広がっているのです。この「健康寿命」の伸びを妨げる要因の一つは、加齢によって骨、関節、靭帯、筋肉、神経といった身体を自由に動かすために必要な運動器の障害のために、移動する能力が低下した状態(ロコモティブシンドローム:ロコモと呼称)になるためであり、進行すると要介護状態になることです。

「整形外科学」は、そのような社会情勢の中で、学ぶべき重要な専門基礎分野の一つです。特に全身の運動器官を造り上げている骨・関節・筋肉・靭帯・腱・脊髄・神経などの病気等について詳しく学び、さらに外傷による損傷、手足等の先天性疾患や感染症、腫瘍、また、スポーツ外傷等についても学びます。

各授業の際には、学生一人ひとりに毎回7~10枚前後のA3用紙いっぱい多くの図表を取り込んだ資料集を作成して配り、レジュメで、その日に学ぶ内容を概説してから授業に入ります。できるだけ臨床の場や家庭などでも役立つ知識については、詳しく解説して飽きさせない授業内容の展開に気を配っています。

授業の目標は、社会のニーズを受け、運動器の障害に対する豊富な知識と自信をもって患者さん(利用者)に対応し、他職種の人たちとも協力して、リハビリテーションチームの立派な一員となり、地域に貢献できるセラピストの養成です。



栗原ゼミは現在、4年生11名、3年生12名の23名が在籍しています。栗原ゼミでは卒業研究の他に、地域の保育園・幼稚園に出前保育に行き、劇やリズム体操、絵本の読み聞かせなどの実践活動を行っています。

実践していく中で、失敗することもあります。どうすればもっと子どもたちに楽しんでもらえるのか。発達段階を学んだり、指導案を書き直したり、教材を作り直したり、仲間と共に試行錯誤しながら学んでいます。

また、長期休暇には計画を立て旅行に行ったり、群馬県にある山小屋に行き、みんなで自炊したり、火をおこしてBBQをしたりと自然体験をして保育に生かす活動をしています。

ゼミで学んだことの一つは、困難も、仲間と一緒に乗り越えられるということです。保育者になってからも、園の先生方と協力していくことを大切にしていきたいと思えます。

学生

発達教育学部 発達支援教育学科
4年 白井 美穂
千葉県私立千葉敬愛高等学校出身



上原先生の講義は、整形外科的な疾患や診断についての基礎を学び、理学療法を行ううえで必要となる運動器疾患に対する知識や臨床で求められる応用力の獲得を目的とする科目です。

理学療法士をめざす私たちにとって、最も大切な基礎医学の一つであり、疾患から診断法、治療法から理学療法士の介入にまで至り、極めて幅広い領域に及んでいます。講義では、図や絵を取り入れた手作りのプリントを配付して下さるため、特徴的な障害や治療法に対して理解しやすく、先生自ら実演や解説をして下さるので、更に理解が深まります。上原先生は、質問に対してプリントを作成するほど、一生懸命学生に向き合ってください熱心な先生です。

理学療法を行ううえで基礎となる科目であるため、修得した専門的な知識が他の講義でも役立っていきます。

学生

保健医療学部 理学療法学科
2年 鈴木 優美
千葉県私立植草学園大学
附属高等学校出身



◎平成26年度決算の概要

1. 資金収支計算書

(1) 収入の部

学生生徒納付金収入は、前年度より1800万円増の15億8700万円で決算しました。

補助金収入は6億2300万円でした。そのうち経常費補助金は4億4800万円で前年度より150万円の減収となりましたが、補助金収入全体としては前年度より1600万円の増収でした。経常費補助金以外の主な補助金として、「CO2 排出抑制対策事業」で短大1900万円、「私立大学教育研究活性化設備整備事業」で大学1400万円、短大700万円、「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」で短大1000万円、「授業料減免事業」及び「入学金軽減事業」高校1100万円、等があげられます。

資産運用収入は、教室等の施設貸し出しが前年度より100万円増の1200万円となりました。事業収入は前年より1600万円増の1億900万円となりましたが、高校の生徒数増に伴う用品代収入や補習授業収入の増加が主な理由です。

一方、前受金は、学園全体で学生・生徒の新入生が20人減少したため、1000万円の減収となりました。

(2) 支出の部

人件費は、職員人件費が前年より3100万円増え、全体で14億7900万円の支出となりました。職員人件費が増えた理由として、保育園において保育士を増員したことと学園事務局において非常勤職員を増員したことがあげられます。

経費は管理経費が前年度より1500万円増えています。前年度より多く支出された経費の主なもの、教育研究経費では光熱水費、修繕費、委託手数料、管理経費では、修繕費、印刷製本費、広報費、補助活動の用品代支出です。

施設関係支出は1億1100万円、設備関係支出は6200万円でした。施設関係では小倉運動場の土地購入10年計画の3年目1400万円、小倉キャンパスA棟空調設備及びLED照明工事6600万円、高校記念館トイレ改修工事2200万円、営繕室建築工事400万円、美浜幼稚園遊戯室天井防護ネット工事300万円等がありました。

設備関係支出の主な事業としては、「私立大学教育研究活性化事業」大学スタディコートの整備1800万円、短大地域子育て支援センター開設事業1000万円があげられます。

資産運用支出は、減価償却引当資産繰入支出5000万円（横浜市債購入）のみでした。

2. 消費収支計算書

帰属収入の合計は、前年度より約3100万円増加し24億3200万円で決算しました。平成20年度大学開学以来、帰属収入の合計額は毎年増えています。

経費に含まれる減価償却額は、教育研究経費において前年より1900万円減で2億5200万円、管理経費において前年度から300万円減で1300万円となりました。大学開学以来、教育研究経費の減価償却額が前年度と比較して減少したのは初めてのことでです。

資産処分差額が800万円ほど計上していますが、これは学園が所有し長期間使われていなかった保養施設を売却した処分差額です。

基本金は、昨年より8300万円少ない1億5400万円を組み入れました。消費支出の部の合計は23億4400万円となり、帰属収支差額はプラス

8900万円でした。また、消費収入の部の合計は22億7800万円で、消費収支差額が6600万円の支出超過となりました。

3. 貸借対照表

資産の部の合計は、92億1300万円となりました。固定資産の土地は、処分した保養地の土地と10年計画で取得した土地の差額およそ900万円が増加しています。固定資産全体では、償却分を含め、前年度より4000万円の減となっています。

流動資産では、現金が1億3300万円ほど増えました。負債の部の合計は900万円ほど増え、6億7500万円となりましたが、増額のほとんどは固定負債の退職給与引当金です。未払金、預り金、前受金等の流動負債は、ほぼ前年度と同額の6億1400万円でした。

基本金は、第1号基本金に1億4300万円が組み込まれ、合計で11億8000万円となりました。

1. 資金収支計算書 (単位: 千円)

科目	平成26年度
学生生徒等納付金収入	1,586,940
手数料収入	28,860
寄付金収入	6,906
補助金収入	622,923
資産運用収入	12,492
資産売却収入	1,505
事業収入	109,420
雑収入	57,462
前受金収入	360,246
その他の収入	917,148
資金収入調整勘定	△ 438,078
前年度繰越支払資金	1,473,805
収入の部合計	4,739,629

人件費支出	1,478,827
教育研究経費支出	425,438
管理経費支出	148,976
施設関係支出	111,139
設備関係支出	62,148
資産運用支出	58,000
その他の支出	920,302
資金支出調整勘定	△ 71,742
次年度繰越支払資金	1,606,541
支出の部合計	4,739,629

3. 貸借対照表 (単位: 千円)

科目	平成26年度
固定資産	7,381,999
流動資産	1,830,763
合計	9,212,762

2. 消費収支計算書 (単位: 千円)

科目	平成26年度
学生生徒等納付金	1,586,940
手数料	28,860
寄付金	13,729
補助金	622,923
資産運用収入	12,492
資産売却差額	255
事業収入	109,420
雑収入	57,462
帰属収入合計	2,432,081
基本金組入額合計	△ 154,429
消費収入の部合計	2,277,652

人件費	1,489,673
教育研究経費	677,332
管理経費	164,478
資産処分差額	8,287
徴収不能額	3,785
消費支出の部合計	2,343,555
当年度消費支出超過額	65,903
基本金取崩額	-
翌年度繰越消費支出超過額	2,642,250

(単位: 千円)

科目	平成26年度
固定資産	61,492
流動資産	613,953
合計	675,445
基本金の部	11,179,567
消費収支差額の部	△ 2,642,250
合計	9,212,762



♡空き時間

授業の合間の空き時間には、実習で習ったことをおさらいしたり、仲の良い友達とおしゃべりしたり、充実した時間を過ごしています。



♡お弁当

早まきしてお弁当を作ってまーす!

●1年次時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:20~10:50		物理学			人間関係論	
2時限 11:00~12:30	生物学	英語Ⅰ	化学	理学療法学概論Ⅱ	運動学Ⅰ	
3時限 13:20~14:50	理学療法学概論Ⅰ	解剖学	人体機能構造学演習	自然科学入門	社会福祉学	
4時限 15:00~16:30	解剖学実習	統計学	理学療法学実習	理学療法学実習	生理学	
5時限 16:40~18:10	解剖学実習	コミュニケーション論	運動療法学	理学療法学実習	スポーツレクリエーションⅠ(選修)	生理学
	心理学	理学療法学評価Ⅰ	運動療法学		スポーツレクリエーションⅡ(運動)	

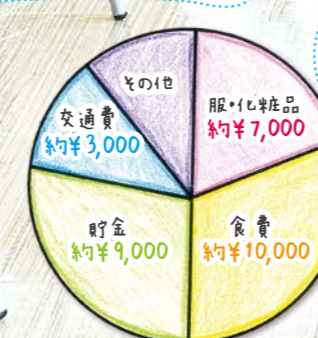
●2年次時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:20~10:50	運動学Ⅱ		インターメディエイトセミナー		運動療法学実習	精神医学
2時限 11:00~12:30	理学療法学評価Ⅱ	生命倫理学	物理療法学	一般臨床医学	運動療法学実習	精神医学
3時限 13:20~14:50	神経内科学	安全管理論	病理学	内科学	理学療法学評価Ⅰ	動作分析学
4時限 15:00~16:30	運動学実習	リハビリテーション医学	物理療法学実習	整形外科学	日常生活活動学	動作分析学
5時限 16:40~18:10	臨床心理学	救命救急医学	病理学	内科学	理学療法学実習	
	人間発達学		物理療法学実習			



♡ノート

講義で習ったことをノートにまとめています。専門的で難しい内容が多いので、図やマーカーを使って要点を整理しておくと見直しても分かるように工夫しています。



♡アルバイト

土曜日と日曜日は洋菓子店でアルバイトをしています。アルバイトの給料は、だいたいこんな感じで使っています。



植草学園短期大学
福祉学科
地域介護福祉専攻
准教授 今井 訓子

本号の特集にあるように植草学園では「地域と共にある」ことを大切にしています。地域の方々と一緒に考え行う街づくりや、子育て支援・教育実践センター、災害時に対応する福祉避難所の設営訓練など、学生たちも社会貢献に努めています。

今後、地域連携・地域貢献を一層推進し、どうすれば相互発展するのかを考え、地域をみつめていきたいと思っています。



U-heart
Vol. 15
October 2015

Staff

U-heart 編集委員会
編集委員長 栗原 ひとみ
副委員長 今井 訓子
編集委員 荒金 房子 山本 邦晴 安藤 靖幸

編集協力・製作
Art Direction trans-act 高田 嘉幸
取材・編集 耕書堂 関口 哲
撮 影 アポロ創研株式会社 平田 光二 押木 良輔
D T P TSY 林 猛夫
印 刷 相和印刷株式会社

平成28年度入学生から
免除額を大きく引き上げ!

新「植草学園スカラシップ制度」は、
勉強したい! 植草学園で夢をかなえたい! を応援します。

新入生対象スカラシップ制度

☎ 大学【発達教育学部】・【保健医療学部】 対象

- 大学入試センター試験
利用入試A日程における
成績優秀者

◎合格者の成績上位

10%の者に対し

◎4年間の納付金の比較

4年間で最大

339万円

(発達教育学部)

367万円が免除

(保健医療学部)

入学金の全額
+
1~4年次の授業料
全額免除

*施設費、教育充実費等は除く

【発達教育学部】

	スカラシップ 対象学生	一般学生	差 額
入 学 金	0円	270,000円	▲270,000円
授 業 料	0円	3,120,000円	▲3,120,000円
施 設 費	880,000円	880,000円	0円
教育充実費	400,000円	400,000円	0円
4年間合計	1,280,000円	4,670,000円	▲3,390,000円

【保健医療学部】

	スカラシップ 対象学生	一般学生	差 額
入 学 金	0円	270,000円	▲270,000円
授 業 料	0円	3,400,000円	▲3,400,000円
施 設 費	1,920,000円	1,920,000円	0円
教育充実費	1,080,000円	1,080,000円	0円
4年間合計	3,000,000円	6,670,000円	▲3,670,000円

【参考】 国立大学標準額 入学金 282,000円 + 4年間の授業料 2,143,200円 = 2,425,200円

- 大学入試センター試験
利用入試A日程における
成績優秀者

◎合格者の成績上位

20%の者に対し

4年間で最大

183万円

(発達教育学部)

197万円が免除

(保健医療学部)

入学金の全額
+
1~4年次の授業料
半額免除

*施設費、教育充実費等は除く

【発達教育学部】 入学金27万円 + (年間授業料78万円 × 1/2 × 4年間) = 183万円が免除

【保健医療学部】 入学金27万円 + (年間授業料85万円 × 1/2 × 4年間) = 197万円が免除

対象者

- ①大学入試センター試験利用入試A日程の受験者
- ②AO入試・推薦(公募制・指定校制)入試・植草学園大学附属
高等学校特別選抜試験で合格し、手続を完了した者で、①の
試験を再度受験することによって新入生対象スカラシップ制度を
利用する者(本学の受験料は免除)

※入学後の学修成績等によっては、適用外となることが
あります。成績上位20%であれば、次年度もそのまま減
免が受けられます。20%を外れた場合は次年度の減免
は受けられませんが、次年度以降再び成績上位20%
以内に入れば、翌年の減免を受けることができます。

※在学生スカラシップ制度および本学独自の奨学金制度
との重複はできません。

在学生対象スカラシップ制度

☎ 大学・短大
全学科 対象

- 大学・短大ともに、各年次(卒業年次は除く)の成績上位者

◎成績上位

5%の者に対し 翌年度に
奨学金 200,000円を支給

※新入生対象スカラシップ制度適用者(大学)は、在学生対象スカラシップ制度の対象から除きます。

スカラシップに
チャレンジ
しよう!!

障害と支援の学びが未来をつくる。

植草学園大学/植草学園短期大学

〒264-0007 千葉県若葉区小倉町1639番3 Tel.043-233-9031(代) Fax.043-233-9088

◎入試・広報課 Tel.043-239-2600 Fax.043-214-5001 URL.http://www.uekusa.ac.jp

平日9:00~17:00 土曜日9:00~12:00

webサイトへ!



詳しくは

植草学園

検索